



豊田南小学校
松本 唯愛
3年



大きなナスがみのったよ



市長賞受賞者のコメント

春に植えたナスのなえが成長し、しゅわかくする場面をかきました。おばあちゃん畑で育った大きなナスを画用紙いっぱい表げんしました。

ナスに「大きなあれ。」と毎日毎日声をかけて水をあげると、夏には太陽の光をあびて黒やむらさきにかがやくつやつやのナスになりました。

しゅわかくしたナスをお母さんがはさみやきにしてくれました。自分で育てたナスはおいしかったです。

総評

今年の作品は、子どもたちの様々な思いが、多彩な色や多様な表現に見られ、磐田市の子どもの心が豊かに育まれていることを強く感じることができました。特に「大切な家族への思い」「可愛いがついている生き物への思い」「大切に育てた花や野菜」「磐田の美しい風景」など、作品から皆さんの声が聞こえてくるようでした。また、お祭りなど大切な地域の伝統をテーマにしたものや、夏休みの体験や花火大会などを題材にした作品も比較的多く見られました。

今回のジュニアアート展では、「目には見えない『思い』や『心』」を子どもたちがどう表そうとしているかをじっくり味わっていただければと思います。

(浜松市秋野不矩美術館館長 鈴木 英司)

令和6年度磐田市芸術祭を終えて



磐田市文化協会 会長

桂みさを

磐田市より委託されている芸術祭は、昨年12月8日の「芸術祭表彰式」で無事終了することができました。各部門の発表が協会員によって運営され、市民の皆様にはそれぞれの立場で参加していただきました。各部門の発表や他の事業が継続されていることに改めてお礼を申し上げます。

さて、私たちが培ってきた芸術活動をどのようにして次世代に繋げていくかは喫緊の課題です。少子・高齢化を始め、社会は激変しています。世の中の様々な状況や若者たちの生き方を把握し、私たちの活動に新しい風を吹き込まなければなりません。今までの活動を加除修正したり、今までにやって

こなかったことに挑戦したりしていきたくてものです。固定観念を捨て広い視野に立つて改善を図っていくべきではないでしょうか。芸術は人々に楽しみや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらします。無くてはならないものなのです。

磐田市文化協会が掲げる「伝統のある文化芸術への継承と発展」及び「市民文化の向上への寄与（啓発）」の目的があります。この目的達成のために芸術活動を通して切磋琢磨し合いながら市民の皆様の協力を得ながら邁進していきましょう。



磐田市長
草地博昭

磐田市文化協会の皆様、日頃より本市の文化芸術の発

展にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

本年の市の芸術祭におきましては、6,000人もの方々にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。これもひとえに、文化協会の皆様の献身的なご努力の賜物であり、深く御礼申し上げます。

私も芸術祭のすべての会場に足を運び、市民の皆様や協会の皆様の日頃の研鑽の成果を拝見させていただきました。

そこで感じたのは文化がもつ力です。文化は多様な価値観に触れ、他者との違いを受け入れる心を育みます。それは、心を大らかにし、平和で穏やかな社会を創造していく心の糧となるものではないでしょうか。

磐田市は古くから遠江の中心地として栄え、多様な文化が行き交う地でした。この歴史に裏打ちされた豊かな文化は、私たちの誇りであり、次世代に継承していくべき大切な遺産です。

文化協会の皆様には今後もこの伝統を守り、さらに発展させていく担い手として、ますますのご活躍を期待しております。市としても文化協会の皆様とともに、市民の皆様様の心に潤いをもたらす文化芸術活動を全力で支援してまいります。皆様におかれましては、引き続き本市の文化振興にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

公募部門発表

芸術祭公募展部門実行委員長

平田 藍水

ようやく訪れた秋らしい季節に、情熱と志と美の詰まった多彩な作品が展示されて、静かな賑わいに会場は包まれました。

書と文学等で高校生の出品数が増加したため、主催者も来場者も明るい表情になりました。各部門の特色ある風情がすばらしかったです。文学部門の展示壁面に、工芸の趣きある工芸会員の花

器といけば、な部門の作品が互いに引き立て合っている光景は殊に印象的でした。

この先も、全ての文化を共有し、支え合う磐田市芸術祭にしましよ



表彰式

令和6年度 磐田市芸術祭

部門別受賞者名

俳句の部

- | | |
|------------|------------|
| 市長賞 古橋 清隆 | 市長賞 川島 敬司 |
| 会長賞 鈴木 誠 | 会長賞 長谷川むつ子 |
| 教育長賞 中村 友音 | 教育長賞 鈴木 和枝 |
| 特選 清水 京子 | 特選 日馬 真代 |
| 特選 塩野 昌治 | 特選 中村且之助 |
| 特選 太田 菊代 | 特選 鈴木 智子 |
| 特選 鈴木 花恵 | 奨励賞 竹原 和子 |
| 特選 伊東 歩武 | 奨励賞 寺田 陽子 |
| 特選 佐藤 祐太 | 奨励賞 石橋 青桜 |
| 特選 竹原 誠人 | 奨励賞 岡田 延子 |
| 特選 川島 琉暉 | 奨励賞 伊藤 房子 |
| 奨励賞 渡辺 強 | 奨励賞 寺田ふみ子 |
| 奨励賞 鈴木 剛一 | |
| 奨励賞 松山記代美 | |
| 奨励賞 鈴木 厚代 | |
| 奨励賞 中山 妙子 | |
| 奨励賞 杉浦 鈴子 | |
| 奨励賞 高橋とし子 | |
| 奨励賞 高田 茂子 | |
| 奨励賞 杉谷優希穂 | |
| 奨励賞 高橋 星帆 | |
| 奨励賞 森田 圭祐 | |
| 奨励賞 齋藤祐衣奈 | |
| 奨励賞 鈴木 温翔 | |
| 奨励賞 松島 早希 | |
| 奨励賞 鈴木 麻友 | |
| 奨励賞 関戸 咲月 | |

短歌の部



書の部

- | | |
|------------|------------|
| 市長賞 鈴木 芙祐 | 市長賞 藤江 真澄 |
| 会長賞 榊田 綾水 | 会長賞 西室 徳美 |
| 教育長賞 栗田 南峰 | 教育長賞 乗松 弘志 |
| 特選 松浦 瑞虹 | 特選 井浪 利子 |
| 特選 金子 莉鵬 | 特選 川島 善昭 |
| 特選 洪川 恵泉 | 特選 鈴木眞貴子 |
| 特選 大場 明子 | 奨励賞 清水 俊彦 |
| 特選 村松 弘華 | 奨励賞 亀沢 豊 |
| 奨励賞 伊川 葵 | 奨励賞 芹野 洋介 |
| 奨励賞 鈴木 豊邑 | 奨励賞 宮地 春洋 |
| 奨励賞 稲葉 梨紗 | 奨励賞 山下 武士 |
| 奨励賞 山田実千代 | |
| 奨励賞 柿原ななみ | |
| 奨励賞 朝倉 綾音 | |
| 奨励賞 中村 実李 | |
| 奨励賞 藤井 笙蘭 | |
| 奨励賞 井口 桃果 | |



絵画の部

- | | |
|------------|------------|
| 市長賞 藤江 真澄 | 市長賞 宮村 博明 |
| 会長賞 西室 徳美 | 会長賞 林 健太郎 |
| 教育長賞 乗松 弘志 | 教育長賞 大中 誠治 |
| 特選 井浪 利子 | 特選 勝野 廣宣 |
| 特選 川島 善昭 | 特選 安達 勝 |
| 特選 鈴木眞貴子 | 特選 榛葉 周二 |
| 奨励賞 清水 俊彦 | 奨励賞 後藤順一郎 |
| 奨励賞 亀沢 豊 | 奨励賞 山田 勝三 |
| 奨励賞 芹野 洋介 | 奨励賞 築地 洋 |
| 奨励賞 宮地 春洋 | 奨励賞 鈴木 由雄 |
| 奨励賞 山下 武士 | 奨励賞 瀬尾けい子 |
| | 奨励賞 村井 満雄 |



写真の部

- | | |
|------------|-----------|
| 市長賞 宮村 博明 | 市長賞 牧野 周一 |
| 会長賞 林 健太郎 | 特選 埜村 和美 |
| 教育長賞 大中 誠治 | 特選 山本 静江 |
| 特選 勝野 廣宣 | 奨励賞 内山あさ子 |
| 特選 安達 勝 | 奨励賞 疋田 孝吉 |
| 特選 榛葉 周二 | 奨励賞 大須賀早苗 |
| 奨励賞 後藤順一郎 | 奨励賞 神谷 典良 |
| 奨励賞 山田 勝三 | |
| 奨励賞 築地 洋 | |
| 奨励賞 鈴木 由雄 | |
| 奨励賞 瀬尾けい子 | |
| 奨励賞 村井 満雄 | |



工芸・クラフトの部

- | |
|-----------|
| 市長賞 牧野 周一 |
| 特選 埜村 和美 |
| 特選 山本 静江 |
| 奨励賞 内山あさ子 |
| 奨励賞 疋田 孝吉 |
| 奨励賞 大須賀早苗 |
| 奨励賞 神谷 典良 |



令和6年度 磐田市芸術祭公募部門 市長賞受賞者の言葉

俳句の部 市長賞

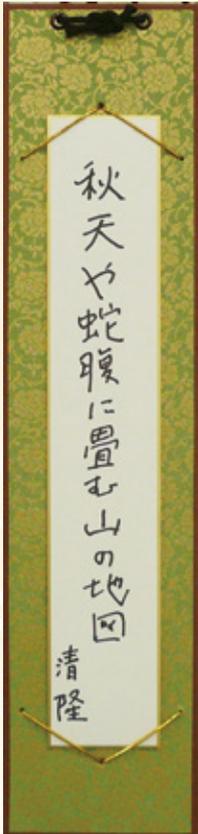
古橋 清隆

登山によく使われるのが国土地理院発行の2万5千分の1縮尺の地形図です。大きさは58センチ×46センチですので、使い勝手のいいように折り畳めます。

山歩きは事前にこの地図を広げ、登山コースの地形や危険箇所等の情報を読み取って安全な計画を立てます。

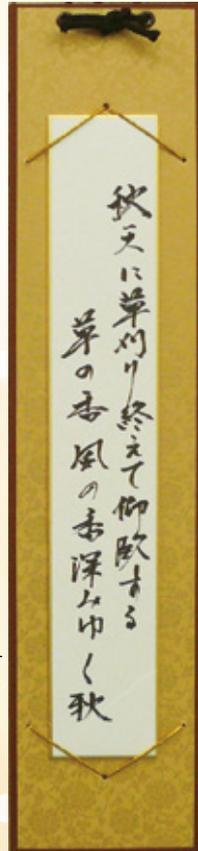
頂上へ着いたときの達成感、無事下山したときの安堵感、登山の楽しさと山への畏敬の念をこの句の中に込めました。

俳句を始めて十年、「浜松白魚火」でご指導頂いております渥美先生、村上先生、句友の皆様から感謝申し上げます。



短歌の部 市長賞

川島 敬司



「秋天」という言葉に出会って一目惚れ、この言葉を使った歌をと思いつきながら二年を経てこの作品になりました。この言葉は、秋の爽やかさはもちろん空の青さ、空気の透明感、空の高さまでもイメージできる素敵な言葉だと思えます。また歌の構成でも爽快感を出したいと考え、結句は体言止めを選択しました。

私の作歌環境は必ずしも恵まれてはいませんが、老いの楽しみに短歌を友としたいと考えています。

これまで私の歌づくりをご指導くださった故伊藤正則先生、現在の柚木先生の両先生には心から感謝申し上げます。

書の部 市長賞

鈴木 芙祐

幼少期に書道に出会い、就職や育児を機に長いブランクがありました。

しかし、二年前に早瀬先生と出会い、再度、書道と向き合うようになりました。今回の作品は、意気込みが強いあまりに文字が大きくなり過ぎてしまい、余白を生かすことに苦労しました。小ぶりながら躍動的な作品制作に努めました。

周囲の方のレベルの高い作品づくりの姿勢を見習い、切磋琢磨することが今回の受賞に繋がることができたと感じています。この受賞に慢心することなく、今後も他者の心を動かす作品制作に邁進していきたいです。



絵画の部 市長賞

藤江 真澄

岩田神社へ降りるあたりの高台に、大きなキャンバスを抱えて何度も足を運んだのは30年程前になります。

それから描くことから遠ざかり、この未完の絵に筆を入れることがなかった私でした。昨年、絵画クラブに入会したことから出展を勧められ、想い出を辿るように描き上げたのが今回の作品です。

穏やかな秋の一日、静かに流れる天竜川の向こうの山際に陽が沈む前、豊穣を祝福するかのよう優しい光に包まれ、一面に



黄昏の田園

広がる田園は美しい黄金色に輝いていました。ご覧くださった皆様とその光景を共有できたなら幸いです。

写真の部 市長賞

宮村 博明

周智郡森町にある蓮華寺、このお寺は遠州三十三観音霊場一番札所で萩寺として知られています。青萩がめずらしく好きで、春に咲く頃に何度も撮りに行きました。奥へ進むと鐘つき堂があり、手前には祈願処が、行きたびに手を合わせ感謝と願掛けをして帰ります。祈願処の佛心の文字が妙に心に残り、祈りの撮影を思いつきました。陽が傾く頃とあいまって、斜光の影が一味深く感じさせる写真となったと思います。これからも一枚の撮影を楽しむ日々を過ごしたいと思っています。



祈り

工芸の部 市長賞

牧野 周一



聖観音菩薩と白衣観音菩薩この二軀は仏像の本の中から四面の写真を参考に彫りました。材は木曾松です。年輪が細かい事と彫刻刀で彫る時の刃の切れ具合がとても柔らかく滑らかです。また、木肌色が純粹で仏像のような神聖な作品には一番素晴らしい木材であると感じています。

彫るには柱の寸法の角材に絵付けを四面描いて、鋸・鑿・彫刻刀で周りから少しずつ削って行きます。絵が削られて消えたらまた描いてそれを繰り返して完成させます。

木取りから始まって完成までに一軀が二ヶ月半位かかります。完成した時は感激しました。

舞台部門発表(前期)

●とき 令和6年10月6日(日)
●会場 磐田市民文化会館かたりあ

舞台部門前期は、反響板を使用する音楽中心の13団体の出演となりました。

各団体のさまざまな音色が、「かたりあ」のホール内いっぱい、また観客の皆様的心にも響いたことと思います。

中尾 純子

出演者の一人ひとりが日頃の成果を発揮することができ、素晴らしい舞台となりました。



舞台部門発表(後期)

●とき 令和6年10月20日(日)
●会場 磐田市民文化会館かたりあ

舞台部門後期は、舞踊中心の17団体の出演となりました。多くの出演者で、とても賑やかでした。また、大勢の観客の皆様にもご来場いただきました。後期も各出演団体の素晴らしい舞台発表となりました。前期・後期共にコロナ禍が明けたことにより、出演全

中尾 純子

団体でのフィナーレを催すことができ、大変盛り上がりがありました。舞台スタッフの皆様並びに関係者の皆様に深く感謝いたします。

舞台スタッフの皆様並びに関係者の皆様に深く感謝いたします。



磐田菊花展

●展示期間 令和6年10月31日(木)～11月10日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

藤原 健

今年の気候は数十年にない猛暑で10月になっても真夏日があり、菊にとって大変厳しい環境でした。成長が遅く蕾が多く、大会開催を見送ろうという話も出ました。しかし、会員の強い思いと情熱が出品点数211点と最近では最も多い数で会場は賑やかでした。展示場に多くの来場者があり、開催して良かったと思えました。異常気象に負けない菊作りをテーマとして、来年はもっと奇麗な菊を咲かせようと会員で誓いました。



いけばな展

●展示期間 令和6年11月8日(金)～10日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

石橋 園美

今年は例年に比べて気温が高く、花の持ち具合などが心配されましたが、無事開催できたことに感謝いたします。また、小学生高校生の参加があり、将来の華道に大いなる力になってほしいと思います。ご来場くださった方の中のお一人が「幸せでした。」とおっしゃってお帰りになりました。やっぱり花の力はすごいと感激いたしました。これからもっとお花を楽しんで、さらなる発展に繋がっていくと思いです。



磐田市 ジュニアアート展

● 展示期間 令和6年11月20日(水)～24日(日)
● 会場 豊田福祉センター

大村 重雄

ジュニアアート展は今年第13回を迎えることができました。本年度も磐田市内の全小学校より1,105点の応募をいただき、各学校の協力に感謝する次第です。

入賞した203点を展示しましたが、多くの市民の方が鑑賞してくださいました。子どもさんの作品の前で記念写真を撮る家族連れの姿を目にするのは、主催者として本当に嬉しかったです。

今後、子どもたちの創作を応援していきたいと思えます。



会長賞
ジュニアアート展

青城小学校5年
武山 夏千

夏の暑い日に、小国神社のおまじりに家族で行った思い出を描きました。せみがたくさんいてジー、ミンミンと鳴いていました。近くでまじまじと見たのは初めてで、羽のようがとて不思議できれいでした。家族でおいくじを引いて、大吉が出たのでとてもうれしかったです。小国神社は大きな木がたくさんあって、緑色がとてもきれいです。池もあり、なんだかわたしにとつてとても好きな場所になりました。また行きたいです。



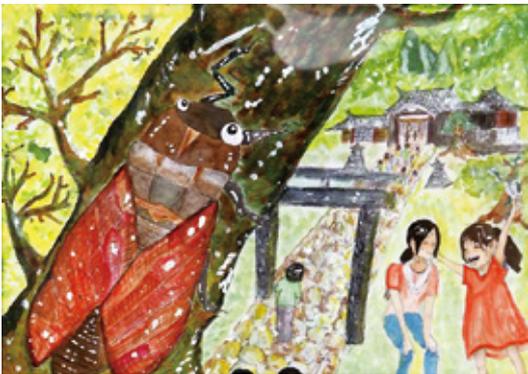
教育賞
ジュニアアート展

富士見小学校2年
中澤 志月

いわ田には、森がいっぱいあります。森の木には、いろいろな色の鳥がたまってきます。みんなちがう鳥です。ちがってもみんななかよしです。



いろとりどりのとり



私とお母さんの思い出の場所

あお虫さんもなかよしです。生きものが、なかよくくらす森はすてきです。そんな鳥をいろんな色をつかってかきました。木のはっぱもいろいろなみどり色にしました。わたしは、生きものが大好きです。大すきな生きものが、これからは元気にくらしてほしいです。

第13回ジュニアアート展受賞者名

賞	学校名	学年	氏名
市長賞	豊田南小	3年	松本 唯愛
文化協会会長賞	青城小	5年	武山 夏千
教育長賞	富士見小	2年	中澤 志月

賞	学校名	学年	氏名
特選	磐田北小	1年	斉藤 希
特選	磐田中部小	1年	渥美 友惺
特選	磐田南小	1年	加藤 航
特選	長野小	1年	竹内 礼二
特選	富士見小	1年	鳥居 奏翔
特選	磐田北小	2年	甘露 寺陽子
特選	磐田北小	2年	杉山 智南
特選	磐田北小	2年	湯山 夏帆
特選	豊田東小	2年	渡邊 結香
特選	豊田東小	2年	平野 香葉
特選	磐田南小	3年	井伊 桐
特選	磐田南小	3年	辻 七那
特選	富士見小	3年	杉田 侑生

賞	学校名	学年	氏名
特選	竜洋西小	3年	長谷川 結菜
特選	豊田東小	3年	松本 依子
特選	磐田北小	4年	斉藤 山
特選	磐田東小	4年	服部 克
特選	向笠小	4年	杉山 夢
特選	豊岡南小	4年	佐藤 創
特選	豊岡北小	4年	與五 澤
特選	磐田中部小	5年	坂口 玲
特選	磐田東小	5年	杉浦 翔
特選	磐田東小	5年	劉本 陸
特選	豊田南小	5年	松本 愛
特選	豊岡北小	5年	山田 真希
特選	磐田南小	6年	鈴木 想
特選	磐田東小	6年	杉山 華
特選	豊田南小	6年	杉谷 野々
特選	豊田東小	6年	細川 明
特選	豊岡北小	6年	尾崎 舞

自主事業

子どもいけばな教室

●とき 令和6年8月4日(日)
●会場 豊田福祉センター大会議室

「体験してみたい」という希望は年々増えています。今年も体験教室に多くの応募がありました。

今年子どもたちの希望を叶えるために、午前と午後の2回開催しました。

文化協会に加盟するいけばな部8流派の代表者が指導にあたりました。

花を活ける、ひとり一人が思い思いに花瓶に向き合い、自分を表現していました。一つとして同じものはなく、個性のあるいけばなを仕上げていました。



自主事業

子ども茶道教室

●とき 令和6年8月25日(日)
●会場 豊田福祉センター大会議室

今年も体験希望者が多く午前と午後の二部制で開催しました。

指導は裏千家なでしこ会の皆さんで、前日から会場づくりや教室の準備をしていただきました。

子どもたちは普段の生活では経験することできない、正座やお辞儀の仕方に神妙な顔つきで取り組んでいました。

甘いお菓子をいただき、飲み慣れない抹茶も美味しそうに飲み干していました。

伝統文化に触れた貴重な体験、夏休みの貴重な思い出となったことでしょう。



加盟団体の紹介をします!

DANCE STUDIO Rabbit

〈代表者〉山中 大輔
〈連絡先〉〇九〇・七四三一・六五九三



磐田市を中心に様々なジャンルのクラス編成で幼児から社会人までがイベントに出演をしています。この活動を通し磐田市を盛り上げていきます。ここ数年、ダンスコンテストで全国大会入賞や、バックダンサーやPV出演など子どもたちが素晴らしい活躍をしています。

今後一人でも多くの方にダンスを見たり触れ合ってもらい踊る楽しさだけでなくダンスを通して夢や元気を与えられる活動を目指していかれたらと思います。



安来節保存会・静岡支部

〈代表者〉濱先 未朋
〈連絡先〉〇五三八・三八・一一五四



鳥根県の代表民謡『安来節』の唄の余技として生まれたどじょうすくい踊りと銭太鼓は明治四十四年発足から今日までお座敷芸から舞台芸として発展してまいりました。私たち安来節保存会は全国組織として定める年間行事を遂行し、また静岡県内を中心に保存活動に努めております。特に磐田地区においては地域の敬老会、夏祭り、施設慰問等をして楽しんでいただいております。磐田市芸術祭には初めての参加となりますが、どじょうすくい踊りの面白さ、銭太鼓の妙技を楽しんでいただけたらと思います。



敬心流詩舞 敬世会

〈代表者〉伊藤 春江
〈連絡先〉〇九〇・八三三三・一五六二



私たちは敬世会は敬心流詩舞の稽古をしています。

漢詩や和歌の吟詠に合わせ歌謡舞踊も取り入れ、表現することを目的としています。

仲間との交流を深め、心をつにして臨む発表会。今年初めて「かたりあ」の舞台を踏ませていただき感動で胸いっぱい!!

その感動が私たちの生きるビタミン剤です。このビタミン剤を皆さんと分かち合いたく、是非一度遊びにおいでください。月二回大藤交流センターで活動しています。

体力増強、良い姿勢を保つことでアンチエイジング!!



磐松敬天詩吟の会

〈代表者〉金井 廣子
〈連絡先〉〇五三八・三八・〇五三一



私たちは磐松敬天詩吟の会は磐松吟道会と浜松の吟道敬天会合同のグループです。

静岡県西部を中心に活動しています。初吟会や観月会等開催して日本古来の詩吟を吟ずることにより楽しさを皆さんと共有できる事が私たちの喜びです。

今回磐田市文化協会に加入しすばらしい会場「かたりあ」で発表できたことをとてもうれしく思います。

漢詩や和歌俳句等の勉強をしながら腹式呼吸で大きな声を出し吟じます。若さを保ち健康にもつながります。皆様も一緒に楽しみませんか。



ホクラニフラススタジオ

〈代表者〉山澤 晴美
〈連絡先〉〇九〇・五六七・一九八〇



私たちはホクラニフラススタジオは、フラススタジオレインボーフォールズの姉妹教室として今年発足いたしました。ベーシック(基本)カヒコ(古典フ

ラ)アウアナ(現代フラ)を学び、磐田市を中心に活動しております。

アロハの心を大切に心躍るフラ、エレガントフラを目指して4歳から80歳代の方々楽しくレッスンをしております。

見学・体験レッスンを随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。



待望の展示施設 設置について

展示施設設置委員長 鈴木儀治

これまで長年に渡り市に対して、展示施設の設置を強く要望してきましたが、令和5年度末、念願かなって設置が決まりました。

具体的には、アミューズ豊田の南側に位置するひと・ほんの庭「こつと」(旧豊田図書館)の2階部分を大幅に改修して展示施設となります。

予定では令和8年度には完成し、使用できるようになると思います。

そこで、本協会では二つの要望事項を提案しました。

○2つの展示室を設け、その一つは大展示室、もう一つは展示室を必要に応じて仕切ることができるようにして個展や小グループの作品展をはじめ、子ども教室や講義室、研修室としても使用できるようにすること。

○文化協会の事務室や倉庫を設置すること。

第7回「磐田を描く・撮る・詠む」コラボ作品展

◎会期:令和7年1月25日(土)～2月2日(日) 9時～16時(最終15時)

◎会場:豊田福祉センター3階大会議室

歴史と伝統ある「磐田」の魅力を発信するために、文化協会の会員が磐田のよさや誇り・自慢などを絵画や写真、短歌・俳句で表現し、その作品を一堂に展示した第7回コラボ作品展を開催しました。作品展には、大勢の市民の方々が来場され、「磐田に長年住んでいるが、作品を通して新たな発見ができたし、地元磐田のよさを見直す機会となった。」という感想を多く聞くことができました。このコラボ作品展が、市民の皆さんに磐田に対する思いや願いを新たにさせていただく場となり、しかも、絵画や写真、短歌や俳句に対する意識の向上にも寄与していると思います。

また、恒例のギャラリートークでは、各分野の作者が自分の作品についての表現意図や思いなどを熱く語っていました。なお、自分の作品(絵画や写真)を観て短歌や俳句を詠んでいただいた方との語らいは異分野同士の交流・研鑽の場として大変価値あるひとときとなったと思います。

このギャラリートークに参加された多くの方から、「表現する対象は同じでも各分野(絵画・写真・短歌・俳句)によって目の付け所や対象から受ける印象の違いなどが分かり参考になった。勉強になった。」との感想があり、これからもこのコラボ作品展やギャラリートークは是非継続してほしいとの声も多くありました。

文化協会の活動方針の一つである「作品を通して磐田の魅力を発信」と「異分野同士の交流・研鑽」の一環として毎年開催しているコラボ作品展は年々作品出品数も多くなり、表現対象の場も広がってきました。また、来場者も増え、ギャラリートークも充実して魅力ある作品展となってきました。



昨年度のギャラリートーク・展示風景

第3回 ほっと「絵画展」

◎会期:令和7年2月19日(水)～2月23日(日)

◎会場:磐田市中心図書館展示室

静岡県地域文化団体連絡協議会(県文連)西部地区第2ブロック広域文化事業の一環として、磐田市、袋井市、森町の3市町の各文化協会が、毎年合同で作品展を開催している。今回は、各文化協会に所属する会員が「それぞれの地域の市・町の特徴(誇りや自慢など)を自分なりの表し方で描いた作品を持ち寄って一堂に展示し、相互に交流・研鑽をすると共に各地区のよさや特色を作品を通して味わい合うことをねらいとしている。また、会員だけではなく地域の方々にも公開し、それぞれの地域の魅力を再認識していただくと共に絵画に対する意識の向上を図りたい。

例年、多くの来場者が熱心に作品鑑賞をしている姿が見られる。



磐田市文化協会賛助会員

高尾純男	声楽家 山田美津子	オペラ歌手 谷口晶子	永井和彦	大石正之
鷹野 薫	大竹 繁	村上浩太郎	牧野周一	砂子精一
山崎克巳	高橋敏夫	小笠原里夏	鈴木光男	一般社団法人 磐田青年会議所 平尾顕正
磐田演劇鑑賞会 鈴木千名美	(株)いたくら 板倉浩司	(株)大進堂 鈴木隆之	鎌田山 醫王寺 松田智照	がくぶち画材 アオシマ 青島弘明
(有)遠州拓地 三井一雄	(有)松屋 齋藤泰司	グルッペ ちぐさ 村上千柄子	フリースペース詞華 西尾宏子	ハートセンター磐田 岡崎勝男
キンパラ(株) 金原一平	オフィス・ズー 鈴木正和 鈴木義典	一般社団法人 磐田国際交流協会 川原利彦	鈴木歯科医院 鈴木紳之	醍醐荘 平野元由
浜松いわた 信用金庫 理事長 高柳裕久	(株)ケーオー工業 大石英二	藤井マタニティ クリニック 藤井俊朗	喫茶 潤 内藤 隆	カフェ クローバー 鈴木隆光
浜名梱包輸送 シルクロード ミュージアム	一般社団法人 総合文化施設大箸家 花咲乃庄	浮月さつき会 寺澤 稔	(株)豊和不動産 水谷行宏	特定非営利活動法人 磐田ふれあい基金協会 理事長 大橋 忍
磐田ドローンを 楽しむ会 龍光純男	劇団たんぽぽ 村岡由美子	磐田竹灯籠・ 焦がし絵を楽しむ会 龍光純男		

新事務局長 就任あいさつ



令和6年7月1日付で協会の事務局長に就任しました大見晴彦と申します。

経歴については、昨年3月まで42年間、磐田市の職員として主に建設部門、市民部門の業務に従事してまいりました。縁遠かった仕事をお引き受けしご迷惑をかけるのではと心配もありますが、自分が大事にしてきた言葉に北大路魯山人の「坐辺師友」があります。「自分の周りの人や物すべてが師であり友である」という意だそうですが、人と人とのつながりを大切に、協会の発展と魅力ある郷土の芸術文化の創造に尽力してまいりますので、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

協会HPで紹介しています

まちなか アート散歩



かぶと塚公園に設置されている石造物、タイトルは「温故知新」と名付けられている。

形は、丸窓がくり抜かれた円形をしている。設置場所がかぶと塚古墳の傍らにあり、丸窓からは古墳が見える。

古墳は5世紀に造られたもので、東海地方最大級の円形をしている。丸窓を通して古代との対話、先人たちとの語らいが楽しめるようだ。

高さ194cmの凝灰岩製で、彫刻家耳塚信弘氏による制作。



磐田市文化協会 ご入会のご案内

入会希望の団体は文化協会事務局へご連絡ください。お待ちしております。
文化協会事務局
〒438-0833 磐田市弥藤太島500-1 豊田福祉センター3階
TEL.0538-86-3730 FAX.0538-86-3731
E-mail iwatabunkyo@aqua.plala.or.jp
磐田文化協会ホームページ <http://iwatabunkyo.com>



編集後記

今年で磐田市合併後20年経ちます。その間コロナ禍、ジュビロ磐田の活躍、また敷地や今之浦の水害等いろいろな事がありました。今年の漢字に3年ぶり5回目の「金」が選ばれました。京都市の清水寺で森清範貫主(かんす)が和紙に揮毫(きごう)しました。2位は「災」3位は「翔」1位の金はオリンピック、世界遺産「佐渡金山」登録も理由で2位の「災」は能登半島地震を心配しての事、3位の「翔」は大谷翔平の活躍がありました。

芸術祭、作品展も会員皆さんの熱意により多くの市民の方々に文化、芸術を理解されたと思います。

広報委員一同、魅力ある「創」を目指して創意、工夫して内容の充実を図っていきます。皆様のご意見をお寄せください。

(佐藤元則)

磐田市文化協会 委員長 寺田 潔 副委員長 藤田 悦子 相談役 原田 緑
広報委員会 委員 鈴木 儀治・村上 尚子・砂子 精一・佐藤 元則・鈴木 けい子